児童発達支援　事業所における自己評価結果（公表）

公表：　2023 年　2 月　13 日　　事業所名　こどもサポート教室「　きらり　」冨塚校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	スペース量は適切だが、運動量が多い活動を行うと少し狭く感じる場面がある。パーテーションで区切り、他の支援の様子が気にならないように配慮している。	
	②	職員の配置数は適切である	7	0	保育士や作業療法士を配置し、専門性を持った運営を行っている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	4	建物にはエレベーターが備わっており、玄関先までは不便はないが、室内には少しの段差があるため、注意喚起をしながら昇降するように促している。また、手洗い場に届かない子どもに関しては、台を置く工夫をしている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	2	パーテーション・机・椅子を移動し、広い空間を作り、ダイナミックに身体を動かしやすい空間を作っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	1	定期的に職員間で面談を行いながら、目標設定をしている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	保護者向けアンケートを実施して、いただいた意見やニーズを把握するように努めている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	寄せられた評価結果は、内容を精査して改善できるものは真摯に向き合い、Web 上（ホームページ）で公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2	2022 年 10 月に市の実地指導を受け、結果を職員で共有し効率の良い方法へと改	

					善した。また、内部監査も適時、執り行われている。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	月に一回程度の会社主催の研修会を実施している。また、職員間でも定期的に研修制度を設けて知識・技術の向上に努めている。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	1	ニーズを的確に捉え、計画に反映できるようにしている。また職員間で情報を共有し、意見交換ができる環境を整えている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	浜松市が導入したアセスメントツールに基づきながら支援計画や評価を行っている。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	保護者や利用者のニーズを取り入れつつ、支援計画を立案し実行に移している。またフィードバック時に職員間で情報を共有出来る環境を整えている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	保護者の思いを汲み取りつつ定期的に見直しを行いながら支援展開を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	一個人の主観にならないよう、他の指導員の意見や話し合いの場を整えながらプログラムを立案している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	支援が固定化されることの無いよう、毎回違う指導員が担当するように努力している。都度、情報を共有し利用者のニーズに合わせた支援を展開し、常に興味を引くような活動を取り入れている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6	1	イベント時に集団の活動を計画・立案・実行している。	

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	毎朝、朝礼を行い各利用者への支援について確認を取り、打ち合わせや振り返りを行えるように努めている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	基本的に振り返りは翌日の朝に行われるが、重要な情報については、支援後に担当者から発信を行い、漏れが無いように心掛けている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	基本的にその日のうちに記録を入力しながら、その後の支援に繋げていく努力をしている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	半年に一度、モニタリングを行いながら支援計画が適切かを判断し、児童の発達段階に応じた課題設定かを確認している。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	相談支援員から電話で、もしくは本事業所へ来ていただき定期的にモニタリングを実施し情報を共有できるシステムを構築している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1	利用者が通園している園に訪問し、情報交換を行っている。また時には、児童相談所や相談支援事業所と連携を図ることもある。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0		対象児は居ない。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0		対象児は居ない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	各機関と連携を図りながら、園への訪問や情報交換を行っている。また、保護者からの要望があれば入園	

					予定の園との情報共有を図っていきたい。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	サポートかけはしシートを用いて、利用者の特性や支援方法についての情報を小学校に提供している。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	発達相談支援センターや発達研究所と連携を図りながら、内部研修や勉強会、事例検討会を行っている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	3	保育園と連携し、交流研修を実施している。また、指導員が所属している園へ出向き、活動の様子を見学したり情報交換を行ったりする時間を設けている。	
	㉙	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	3	放課後支援連絡協議会や子ども部会主催の会議や研修会に参加している。また、あまり機会の無い指導員も積極的に参加を促していく。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	支援後に、毎回保護者に対して今日の様子や支援内容を報告しコミュニケーションを取れる環境を整えている。また、家庭や園での様子を伺い、発達の状況や今後の支援課題について確認を取るようにしている。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4	3	支援中に親子でふれあい遊びを行うなど、参加型の支援を展開できるプログラムを立案している。また、子どもへの接し方や家庭で出来る支援方法について助言を行ったりしている。	
保護者へ	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	契約時に書類を見ながら説明を行っている。また改訂があった場合、書面で説明出来るようにしている。	

の説明責任等	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	契約時に書類を見ながら説明を行っている。また改訂があった場合、書面で説明出来るようにしている。	
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	保護者からの悩み等に対する相談には随時募集、対応をしている。その際、個人の主観だけではなく他職員の意見や立証されている文献やデータ等を合わせて理解しやすい言葉で応じるように努めている。	
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0	年に２回、保護者対象の講演会や座談会等のファミリーカフェ（保護者会）を開催し、保護者同士の交流の場を設けている。	
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	保護者や利用者からの相談の申し入れがあった場合、全職員で情報を共有し適切かつ迅速に対応をしている。	
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	ブログやＬＩＮＥを活用しながら、活動の様子や行事に関する情報を発信している。	
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	鍵付きの書庫で個人情報を保管するなど、厳重に管理を行っている。また利用者が特定されてしまうような情報は、外部へ持ち出さないようにしている。	
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	利用者に応じて視覚情報を利用して伝えたり、コミュニケーションが円滑に構築できたりするようにしている。	
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5	事業所のスペース的に難しい場面も見られるが、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着き次第、検討していきたい。	

非常時等の対応	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	月に一度、防災訓練を実施している。また、感染・防災・虐待委員会を開催するなど、他校舎とも連携を図り活動を報告し合っている。	
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	月に一度、防災訓練を実施している。また防犯訓練も最低年 2 回以上行い、リスク管理を徹底している。	
	㊸	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	1	契約時や年度初めに更新される基本情報シートを用いて、職員間で共有している。	
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	食べ物の提供は行っていないが、基本情報シートを基に、職員間で情報の共有を図っている。	
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	事例が発生した際は、すぐに対応すると共に、上長に報告、職員間で共有できる体制を整えている。また、過去にあった事例に関して、職員が閲覧できるようにしている。	
	㊻	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	虐待防止委員を中心に、チェックシートを活用している。また、委員会を設置して研修や勉強会を実施し、虐待を未然に防ぐ対応をしている。	
	㊼	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	契約時に書面で確認、承諾を得るようにしている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援　保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023 年　2 月　13 日

事業所名： こどもサポート教室「　きらり　」 校　　保護者等数（児童数）：11 人　回収数：6 人　割合：54.5 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	2	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1	0	1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	1	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	1	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	1	0	0		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	0	2	2		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5	0	0	1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	0	1	0		

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	1	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	1	0	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	1	0	0		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6	0	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	0	0	2		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6	0	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3	0	0	3		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1	0	3		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	5	0	1	0		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	5	1	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。